

# 100の一步

## # 61 地下鉄新型車両「4000形の旅立ち」

横浜市営交通の取組とそこに込める思いを発信する“100の一步”。今回は運転士の目線から新型4000形の旅立ちをレポートします。

私は地下鉄運転士として、日々ブルーラインを運転しています。

今年ブルーラインに投入される新型車両4000形は、兵庫県にある川崎車両の工場で製作されました。ブルーラインを走る車両が関西の工場から出場するのは1000形以来で、実に約50年振りのことです。



4000形車両を兵庫県の工場から横浜まで輸送する当日、私は兵庫県まで足を伸ばし、工場から輸送に使う線路に繋がる入り口を見渡せる陸橋上でカメラを構えていました。工場の入口にはピカピカに光り輝く4000形の姿と、製作に携わったであろう川崎車両の職員の皆さまが集まっているのが見えました。出発の時刻となり、迎えに来たJR貨物のディーゼル機関車に引かれた4000形が気笛一声とともにゆっくり動き出すと、川崎車両の職員の皆さまは手を振ったり、写真を撮ったりと、まるで“旅立つ我が子を見守る親”のように見送ってくれました。その光景を目の当たりにした私は、これから“子供”を預かる身として感慨深いものがあり、大事に運転し、お客様に安全で快適にご乗車いただこうと改めて決意しました。

兵庫から横浜まで、ブルーラインの運転士として新たな一步を感じる良い旅となりました。

